

チャレンジ！顕微鏡を使い自分の力でクマムシを発見しよう



自力で発見するぞ

8月19日、学習指導要領発展事業の第2弾(小学校5・6年対象)として、「最強生物クマムシとその仲間たち」のワークショップを行いました。初めにクマムシが乾眠状態から復活する時間を利用して資料「クマムシ Q&A」でその最強生物といわれる秘密を学びました。その後、いよいよチャレンジ。クマムシを発見するポイントは、コケリテラシー(クマムシが好んで住むコケを見分ける力)が必要です。当館のスタッフが数か月かけて、クマムシを発見したコケ(市内各所・産業文化センター駐車場付近のコケ)や参加者が採集してきたコケの中から、顕微鏡をのぞくと1時間。まさに全集中のひと時でした。

参加者は、「自分の力で見つけれられるかどうか、わくわくしながら顕微鏡をのぞいた。見つけたときは、最高にうれしかった」「自分の家の近くにもクマムシがいてびっくりした」など、迎えに来られた保護者の方に興奮気味に伝えている姿が印象的でした。



クマムシライブ映像
(クマムシ Q&A)

「大きいショウリョウバッタをゲットできたよ」 レンジャーと生き物探し

9月19日(日)に生き物ワークショップを開催しました。当日は、台風一過の素晴らしい天候に恵まれ、体験館の近くにある「小坂の郷」で生き物探しをしました。

レンジャーは豊田市自然観察の森からお招きしました。虫や生き物の名前、特徴を教えてもらい、また参加者のたくさんの質問にも答えていただきました。

「ザリガニが取れたよ」「トカゲを手でつかまえたよ」と、小学生の参加者たちは夢中であっという間の2時間半でした。小坂の郷は街に近いのに、いろいろな生き物がいることが分かりました。自然を守り整備してくれている地元の人たちに感謝したいと思います。



☆天文トピックス☆ ほぼ皆既！11月19日の月食



月食は、太陽・地球・月が一直線にならび、月が地球の影に入って欠けて見える現象です。11月19日、豊田では月はずでに欠けた状態で16:40に昇ってきます。一番欠ける食の最大は18:03です。食の最大では、月の直径の97%が地球の影の中に入るため(食分0.97)ほぼ皆既に近い月食となります。

地球の影の中に入ると月は少しずつ欠けていきますが、完全に影の中に入ってしまったら暗くなって見えなくなってしまうのではなく、全体が赤い色(赤銅色)の月となります。今回は、完全に影の中に入るわけではないものの、食が進んでいくとおそらく皆既月食のときのような赤い月となるでしょう。

5月の月食のときは、残念ながらお天気が悪くて見る事ができませんでした。今回は晴れるといいですね。東の低い空がよく見える場所で観察してみましょう。月の明るい部分から影の赤銅色の部分にかけての色の変化が見ものです。

お誕生日の星座やオリオン座の星が飛び出たよ！！

9月18日(土)～20日(月・祝)にミニワークショップ「とびだす星座カード」を行いました。ミニワークショップは多種の工作ができることで人気ですが、天文・宇宙のメニューは久々の登場です。

この工作は、平成21年度に開発した「3D星座カード」をブラッシュアップしたもので、赤青メガネを使って立体視する仕組みを利用しています。星座も、お誕生日の星座で知られる黄道12星座にオリオン座とペガス座を加え、14種類から選んでもらえるようにしました。さらに、持ち帰って自分でオリジナル星座を作ることができるおみやげ付き。参加者に喜んでもらえるように工夫しながら改良し、準備してきました。

開発する上で少し難しい部分もありましたが、参加者からは「本当だ！星が飛び出して見える！」とうれしい声を聞き安心しました。大人の方の参加も見えて、一味違うミニワークショップになったと思います。

